



地域の飼料輸送体制の維持にご協力ください

飼料輸送業界では、飼料輸送専用の特殊車両や高所作業・専門技術が必要なため、他の物品の運送業界と比較して、ドライバーの確保が今後さらに難しくなることが懸念されています。



<特殊車両が必要な飼料配送>

→ 輸送費の上昇や指定日の納品が困難となるおそれもあります。

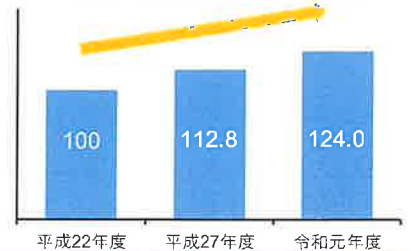


<家畜防疫に対応したこまめな消毒が必要>

グラフ：成約運賃指数の推移（平成22年度を100とする）
資料：（公社）全日本トラック協会・日本貨物運送協同組合連合会「求荷求車情報ネットワーク（WebKIT）成約運賃指数について」をもとに農林水産省が作成

図：「飼養衛生管理マニュアル例」
(https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobok/shiyou/attach/pdf/index-136.pdf)を加工して作成

<ドライバー不足等による運賃上昇>



畜産生産者へのお願い

① 直前発注や急な変更はしていませんか？

効率的な飼料の製造計画や配送のスケジュールが組めなくなることで、地域内の輸送が逼迫する原因になります。在庫量の把握、発注し忘れに注意し、余裕を持った発注にご協力をお願いします。

① 直前発注や急な変更を受けて、運送会社に負担を生じさせていませんか？

運送会社の効率的な配送計画の構築にご協力ください。直前発注、納品時間の指定などは、製造・販売業者の都合だけではなく、運送会社の状況も確認した上で対応いただくようお願いします。

② 附帯作業に料金を支払っていますか？

平成29年から、在庫確認、発注代行などの附帯作業は基本的に運賃と別料金になりました。附帯作業の支払いを拒んだ場合、下請法等の法令違反となる可能性もあります。料金の中に含まれているか契約のご確認をお願いします。

② 附帯作業に料金を支払っていますか？

在庫確認、発注代行など附帯作業に対する対価の支払いを拒んだ場合、下請法等の法令違反となる可能性があります。運賃と附帯作業とは明確に区別する必要がありますので、契約のご確認をお願いします。

③ 発注頻度を減らせませんか？

注文の頻度をまとめること、配送を農場まで委託せず倉庫等に自ら引取りに行くこと等の取組が、輸送コストの低減につながる場合があります。可能な限り効率的に配送できるよう、まとまった量で注文する、多めの在庫を確保する、納品日に余裕を持たせるなどの取組にご協力をお願いします。

③ 荷待ち時間の削減対策をしていますか？

荷主の都合で荷待ち時間が生じるなど、労働時間等のルールを守れなくなる行為によりドライバーの過労運転に繋がっている場合には、荷主勧告の対象となり荷主名が公表される可能性があります。荷待ち時間の実態を把握し、削減に対応いただくようお願いします。

農林水産省 / 国土交通省

協同組合日本飼料工業会 / 全国酪農業協同組合連合会 / 日本養鶏農業協同組合連合会
全国飼料卸協同組合 / 全国肉牛事業協同組合 / 一般社団法人日本養豚協会
一般社団法人日本養鶏協会 / 公益社団法人全日本トラック協会